

大阪市被保護精神障がい者等地域移行推進検討会議  
(第1回 全体会議) 会議要旨

1 開催日時

令和3年8月24日(火) 15時30分～17時00分

2 開催形式

WEB会議

3 出席者

(委員) 栄 セツコ、堤 俊仁、西浦 啓之、萩原 敦子、前川 阿紀子

(大阪市福祉局保護課) 金崎生活保護調査担当課長、坂田生活保護適正化担当課長代理、  
亀山施設担当課長代理

4 議題

(1) 大阪市の現状

(2) 被保護精神障がい者等地域移行支援事業の実績報告

(3) 個別支援の報告

(4) その他

5 議事要旨

- ・ 事務局が被保護精神障がい者等地域移行支援事業の令和2年度の実績及び個別事例の進捗を報告した。個別支援に入った効果として、タイムリーな支援、継続的な関わり、ケースワーカーへの動機づけを図ることができたことをあげた。また、支援で見えてきた課題として、ケースワーカーとの関わり、関係部署や関係機関との連携、コロナ禍における事業運営をあげた。
- ・ 会議委員より、統合失調症の方は平均寿命が他と比べて短いという結果が出ており、地域に無理に戻すことがよいことなのか、しっかりと責任をもって考える必要があるという意見があった。また、成年後見制度の利用が必要な方もいるので、ケースワーカー等へ積極的な周知を図るべきという意見があった。